

平成31年度(令和元年度)子育て支援に関するアンケート

調査結果報告書

I 調査概要

1. 調査の目的

地域の子どもや家庭の実情、子育て支援に関するニーズを踏まえ、今後山県市社会福祉協議会の地域福祉事業である子育て支援事業を検討するため、以下のアンケート調査を実施しました。

2. 調査の実施方法

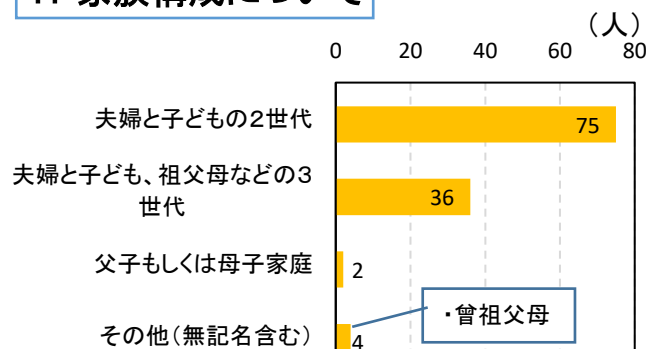
対象者	①山県市で出生した乳児の保護者 ②山県市内の小学校に平成31年度4月に入学した児童の保護者
実施期間	平成31年4月1日か令和2年3月31日まで
実施方法	①こんにちは赤ちゃん訪問にて質問紙を配付、3.4ヶ月健診時に回収 ②平成31年度山県市内小学校入学式にて質問紙を配付、郵送にて回収

3. アンケート回収結果

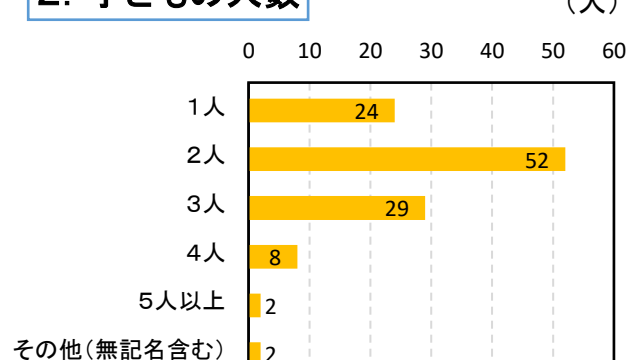
配布数	回答数	回答率
①山県市で出生した乳児の保護者 111通	91通	92%
②山県市内の小学校に入学した児童の保護者 180通	26通	14%

II アンケート結果

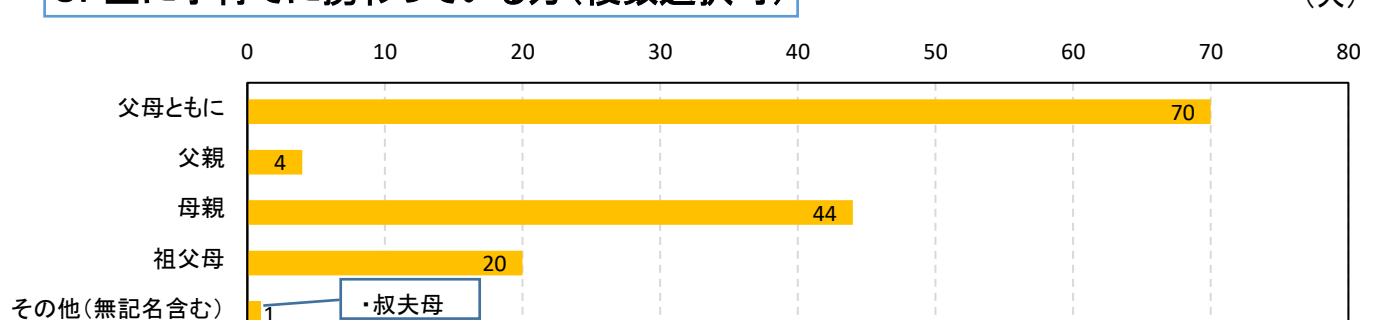
1. 家族構成について



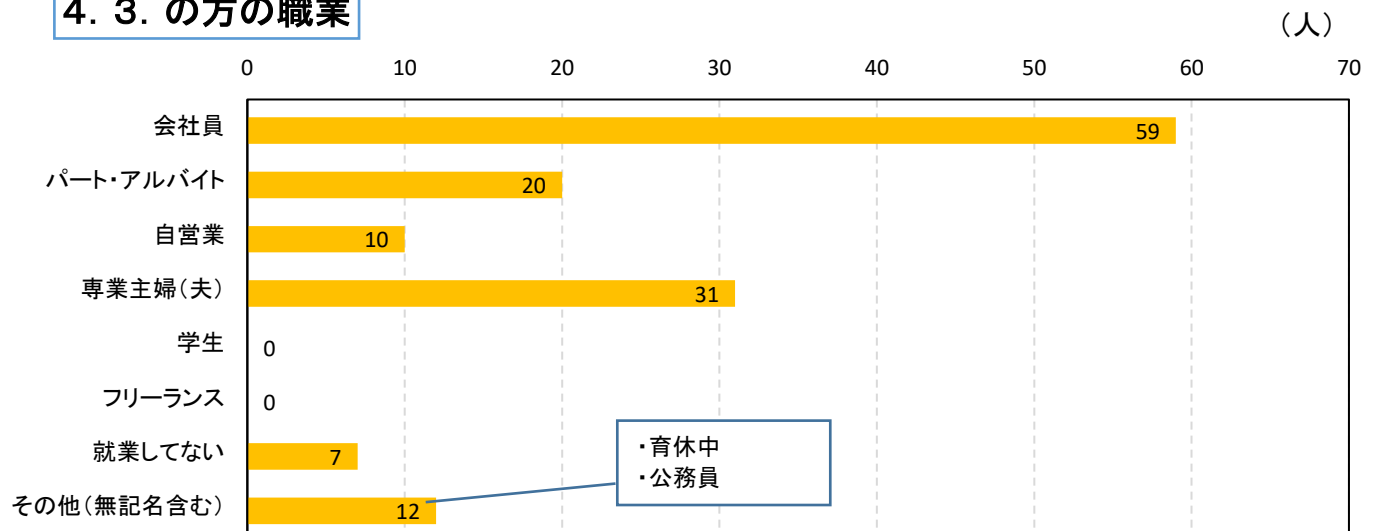
2. 子どもの人数



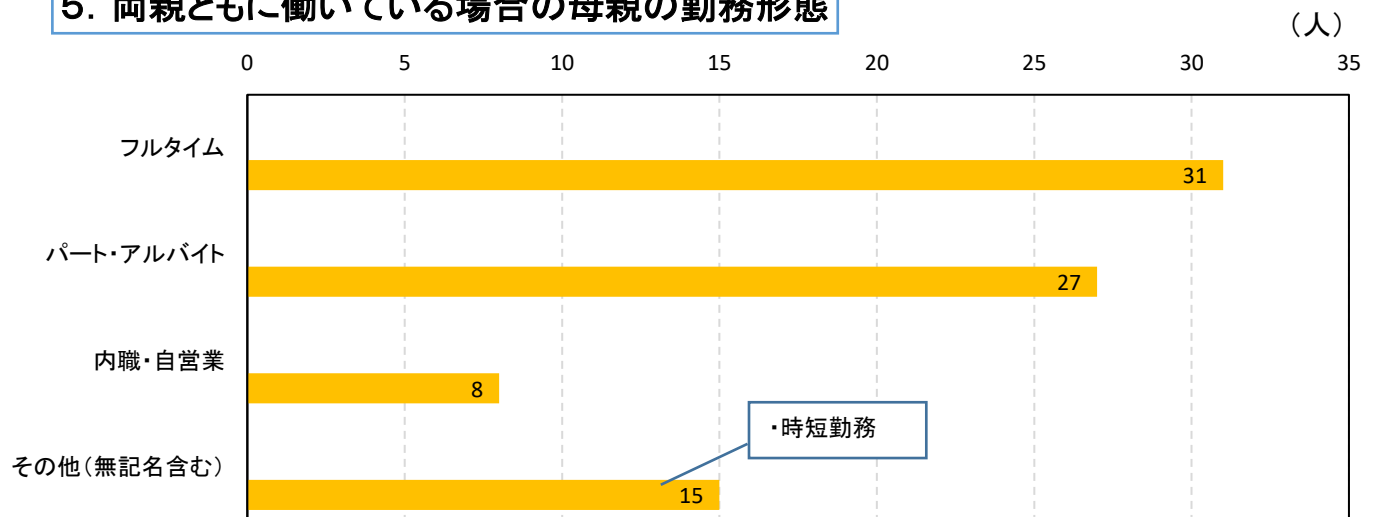
3. 主に子育てに携わっている方(複数選択可)



4. 3. の方の職業



5. 両親ともに働いている場合の母親の勤務形態



【考察】

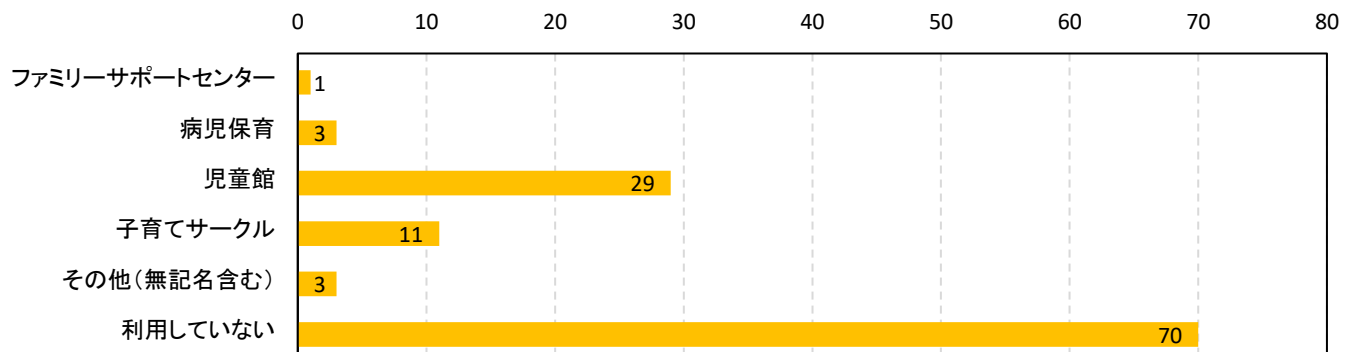
家族構成については、「夫婦と子どもの2世帯」が最も多く（64.1％）次いで、「夫婦と子ども、祖父母などの3世代」が多い（30.8％）ことから核家族化が進んでいることがうかがえます。

また、子育てに携わっている方は「父母ともに」が最も多く全体の約半数を占めており、性別関係なく子育てに携わっていることがうかがえます。

次に、子育てに携わっている方の職業を見ると、就業している方が約70％専業主婦（夫）が約30％となっており半数以上の世帯が子育てをしながら就業しています。

6. 利用している子育てサービス(複数選択可)

(人)



7. どのような子育て支援サービスを望みますか。

託児サービス関係

- ・短時間自宅で子どもをみてもらえるサービス（買い物、病院の間など）
- ・図書館、児童館、げんきはうすでの託児サービス
- ・学校の長期、臨時の休みの際に子供を預かってもらえるサービス

子どもの居場所関係

- ・同じ年齢の子たちとのふれあいの場
- ・外で遊べる場（公園など）
- ・キッズスペースのあるカフェが欲しい
- ・子どもたちが運動できる場所（自然体験など）

子育て相談関係

- ・産後ケア、フォローしてくれるサービスがあると里帰りしない人や近くに頼れる人がいない人も安心。（ベビーシッター派遣や家事の手伝いなど）
- ・産後（産褥期）のサポートがあるといい。
- ・休日でも子育てセミナーを休日でも実施してほしい。平日だといけない。子育てのヒントが欲しい。
- ・父親向けに料理教室をしてくれるといい。

休日に何品か作り置きをしてくれたらその分仕事から帰ってきても子どもと向き合う時間が増える。

その他

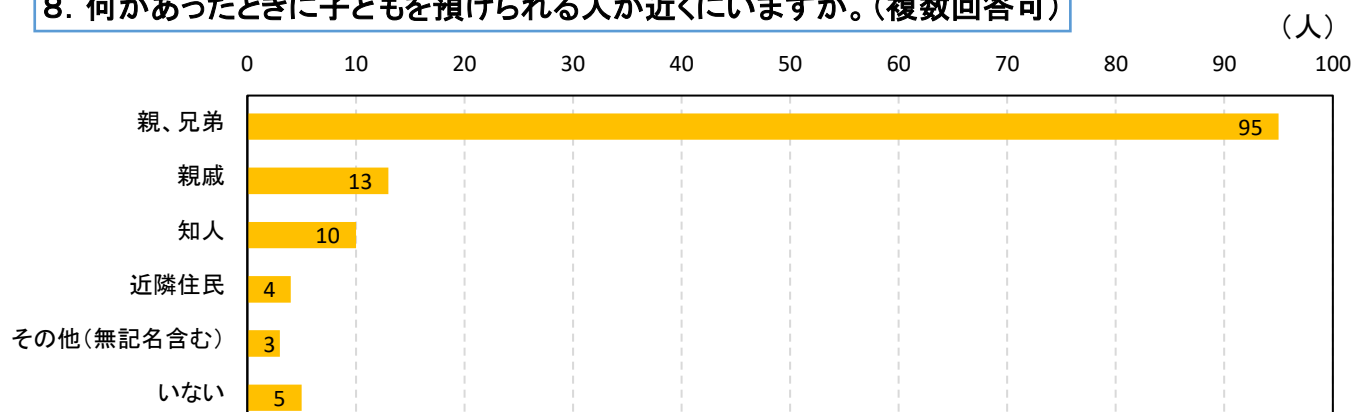
- ・母が外国籍なので日本語を教えてもらえるようなサービスがあるといい。
- ・大運動会

【考察】

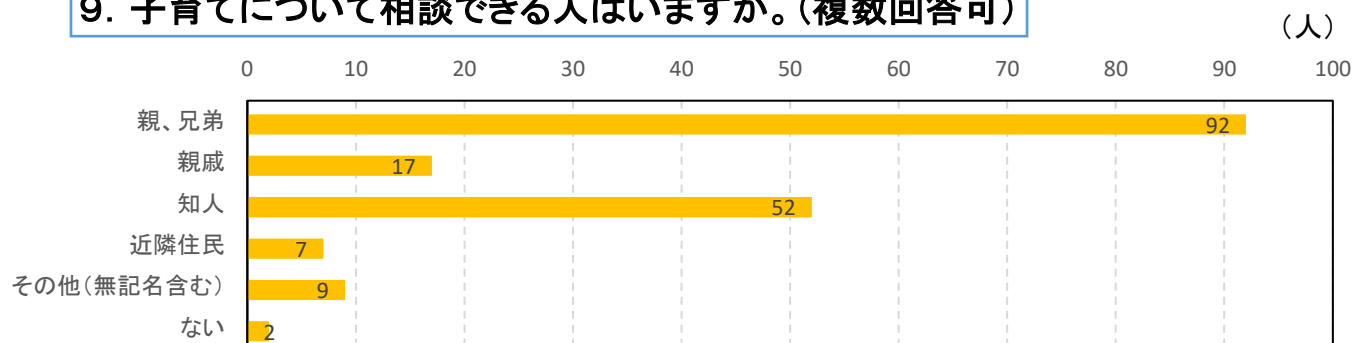
子育て支援サービスの利用状況を見ると「利用していない」が最も多く（59.8％）で半数以上が子育て支援サービスを利用していないことがうかがえる。利用しているサービスとしては「児童館」が最も多く次に、「子育てサークル」、「病児保育」、「ファミリーサポートセンター」となっている。

利用したい子育てサービスとしては、学校が休みに入った時になどに子どもを預かってもらえるような託児サービスや子どもたちを安心して遊ばせられるような居場所を望む声が多い。問3～5の結果から子育てに携わっている方のほとんどが就業しているため、このようなサービスを望む声が多いのではないかと考えられる。

8. 何かあったときに子どもを預けられる人が近くにいますか。(複数回答可)



9. 子育てについて相談できる人はいますか。(複数回答可)



10. 9で「ない」と回答した方とこにならば相談できそうですか。

・カウンセリング・インターネット

11. 現在、子育てについて困っていることや不安はありますか。

発達関係

- ・ウンコが自力ででない。
- ・上の子の赤ちゃん返り（言葉遣いが乱暴、すぐ怒る）
- ・発達、子どもと関連した人との関係が不安
- ・夜泣きがひどいと不安になる

金銭関係

- ・金銭面での不安

子育て全般

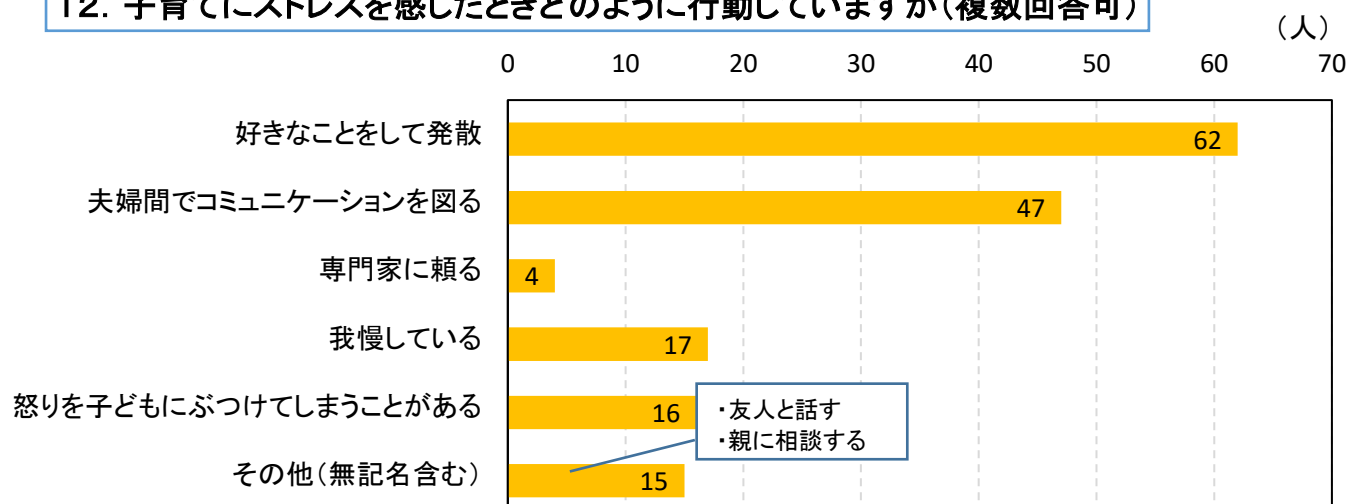
子供を預かってもらう場所がない。

- ・子ども2人を家で見ているため、子どもに我慢させたり、できることに制限がでてくる。
- ・働きながらの育児が不安
- ・子育てセミナーの休日開催（父親の料理教室）をしてほしい
- ・子供の遊べる場を作してほしい
- ・4歳以上歳が離れているので2人を同時に見るとき安心できる場所がない。
- ・元気すぎる子どもについていけない。（両親、祖父母ともに高齢）

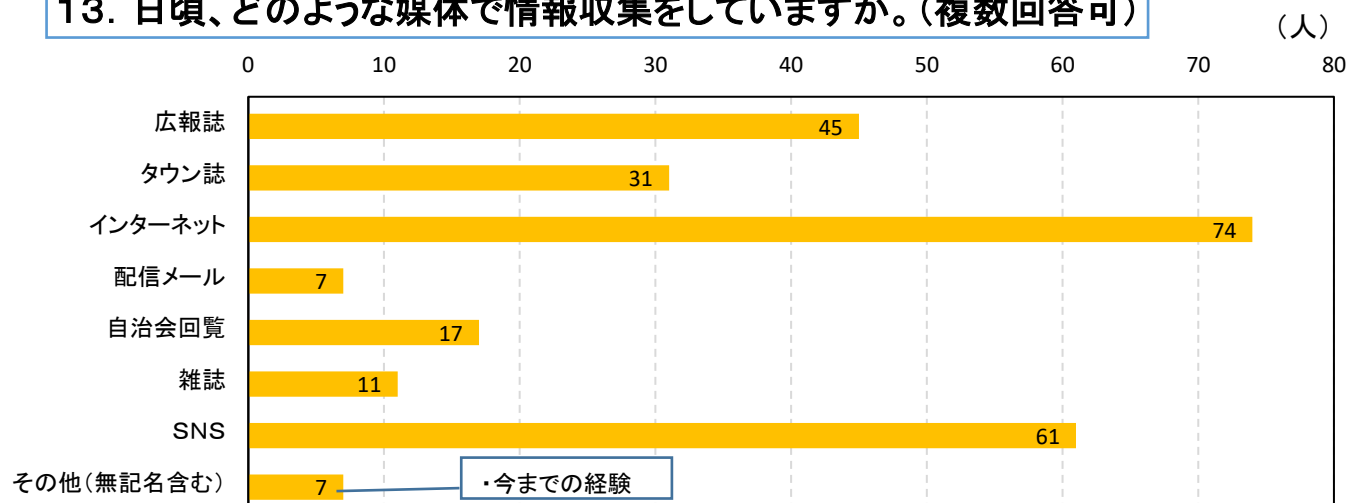
その他

- ・（外国籍のため）日本語がわからない

12. 子育てにストレスを感じたときどのように行動していますか(複数回答可)



13. 日頃、どのような媒体で情報収集をしていますか。(複数回答可)



【考察】

何かあった時に子どもを預けられる人は「親、兄弟」が大多数(73.0%)で、ありほとんどの方が身内に子どもを預けていることがうかがえる。預けられる人がいないと答えた方はほとんどいない(3.8%)。

また、子育てについての相談相手としては、最も多いのは「親、兄弟」であり(53.5%)次に「知人」が多い(29.1%)という結果であり、子育て世代間でのコミュニティが構築されつつあるのではないかと考えられる。

子育てについて困っている具体的な事例としては、子どもの発達についてや、子どもの預け場所がない、働きながらの育児についてや、年の離れた兄弟の育児が不安という声があった。これらのことから、子育てに関していつでも相談できる窓口や、当事者同士の情報交換ができる場所、男性でも気軽に参加できる子育てセミナーを実施していく必要があると感じた。

また、情報収集をしている媒体としては、広報誌やタウン誌などの紙媒体よりもインターネットやSNSなどの電子媒体の方が多い。上記に挙げた不安を解消するためにも今後は電子媒体を活用した情報提供を進めていく必要がある。

14. 出生のお祝いに絵本を贈呈していますが、この事業に関する率直な意見や感想がありましたらご記入ください。

感想

- ・絵本を買おうとすると意外に値段が高いのでお祝いで頂けるのは嬉しいです。
- ・絵本とふれあえるきっかけとなりとても素晴らしいと思います。
- ・絵本をもらえるのでうれしいです。ありがとうございます！！
- ・なかなかそんなことしてくれる所ないし、山口市っていいねと友達にもよく言われます。なので続けてほしいです。
ただ、有名どころの本ばかりなので、ほとんど持っている本だったので新しい本も入っているとうれしいです。
- ・子供にとって絵本は大切だと思うのでありがたいです。
- ・どんどん本の種類を増やしていってもらってうれしいです。
毎回違う本をもらっているし、もらった本は子どもたちの大好きなものばかりです。
- ・絵本がいただけるのは大変嬉しいです。ありがとうございます。
- ・上の子のときにいただいた本もとても喜んで何回も読んで使わせていただきました。
- ・絵本をもらえるのはうれしいです。
- ・本は借りることが多く自分では買わないのでありがたいです。
- ・絵本をたくさん読んでくれる子になってほしかったので本当にありがたいです。
- ・子どもに絵本をたくさん読ませたいので絵本を頂けるのはありがたい。
- ・上の子も一緒に読めるのでありがたいです。
- ・絵本はいくつあっても困らないのでうれしい事業です。
- ・たくさんの種類の絵本があってどの絵本がいいか迷いがちですがある程度数を絞った中なので選びやすく参考になると思います。
- ・以前住んでいた所では出生時だけでなく1歳半健診のときにも本のプレゼントがありました。
しかし、健診時手渡しだったので民生委員さんの訪問で顔を合わせることできるのは良いと思います。
- ・継続でいいと思います。
- ・絵本をいただけてとてもうれしいです。
- ・絵本好きなのでうれしいです。
- ・本は何冊あってもいいと思っていますのでごく嬉しいです。
- ・お祝いに本がもらえるのはありがたいと思っています。

要望

- ・すぐ使えるグッズ等の方がありがたいかな
- ・積み木などもいいと思います

【考察】

子育て支援として絵本を贈呈することに対して多くの喜びの声をいただくことができた。また、絵本を民生児童委員に配達をしていただくことで担当地区の民生児童委員との顔つなぎをすることができるため今後も継続して実施していく必要がある。

絵本以外にもすぐに使えるグッズや積み木など育児には様々なものが必要となるのでニーズに合ったサービスを提供することが重要である。